

平成29年1月10日 第53号

瓦版

柳川郷土研究会
誌「水郷」付録
柳川郷土研究会
柳川郷土研究会
柳川郷土研究会

発行所 柳川郷土研究会
柳川市大和町栄1078-3
発行人 武末十治男
編集責任者 金子俊彦



火 「ある買い物」 (紹介文)

み 露さがりの銀座の歩道。夏の日ざしをさけて
埋 テニスボールほどの大きさだが、赤・黄色・
緑など美しい色をしている。中に仕掛けがあるの
か、右に左に動きながら転がってゆく。私はその
転がりかたの面白さに引かれて、しばらく歩を止
めた。見ているうちに二人の孫の顔がボールとダ
ブってきて、私の手はもうのびていた。「その赤
と黄色を一つずつください」「有り難うゴザイマ
ース」と言って包みかけたが、ふと手を止めて、
「お孫さんですね、おいくつですか」「オネーさん
がたずねた。「一才と二才だけだ」「それではや
めてください」妙なことを言う人だと思ひ。「ど
うして」と聞いた。「小さいお子さんはすぐなめ
るでしょう。あまり良い塗料ではないんです。や
めたほうがいいですよ」
思いがけない言葉にとまどったが、ほのぼのと
してきた。ゆきずりの客なのに…。
ボールは売ってくれなかったが、その代わりに
暖かい心売ってくれた。生き馬の眼を抜くとい
う銀座の真ん中で、しかも露天での思いがけない
買い物に、心がはずんだ。

わたしの考え(武末十治男)

※金儲けのために商売している人だとして、相手
の状況が不幸にならないことを考えてやれるの
は、親切で素晴らしいと思います。話を少し置
き換えますが、講演会や、お話会などで質問の
時、話した人の間違いをせめるような態度で指
敵する人もありますが、また、話した人にして
も自分の話にけちを付けたなどと思ったりする
のは考えなおした方が良くと思います。それよ
り、会議が終わった後でもいいから指摘してく
れた人に、先程は自分の知らなかった処を教え
て頂き勉強になりました。となれば、普段の相
手の考えも少しずつ変わってきて、相手を思い
やる心が芽生えるのではないのでしょうか。